

秋も一段と深まり 寒さも本格的にはってきましたが、  
先生方におかれましては 全国を飛び回り、ご活躍の  
こと思います。

この度、2年10ヶ月の家庭教育支援を卒業させて  
いただきました。担当の鈴木先生、水野先生をはじめ  
すべての先生方に感謝申し上げます。

息子が小学校1年の1月から登校を渋るようにな  
り、朝「行きたくない!!」と玄関で足が止ま  
てしまうため、親が学校の門まで一緒に歩いて  
なんとか登校させる日々。

学校では普通に過ごしているとの事で、なぜ行きたくないのかも分からず、夫婦で途方に暮れ、本や  
インターネットで必死に不登校関係の記事を探し、  
たどり着いたのがペアレンツキャンプでした。

藁にもすがる思いで相談メールをしたところ、すぐに  
なぜ登校を渋るのかのきっかけや原因、アドバイスを

含めた長文の返信をいたしました。その的確で温かな  
内容からすぐに支援をお願いする事に決めました。

息子はまだお休みはしていなかったので  
「家庭教育コース」で支援していく予定でしたが、今  
家庭)一見返すと、それだけ先回りをして息子の  
経験を奪い、命令や指示で答える事をさせず、年相応の  
自立を邪魔していたかが良くわかります。

最初のころはほとんどが△や×ばかりで、こんなに  
ひどかったのかと夫婦で落ち込みました。ですが  
アイ××セーチ"やアクティブリスニング"、夫性の立場の確立、etc...  
PCMを基本に我が家に合ったアドバイス通りに  
試行錯誤していくうちに、徐々に登校渋りは  
少なくなった。2年生に進級してからは付箋をいなしで  
学校に行けるようになりました。

「親が学べば子どもは伸びる! 親が変われば子ども変わる!」

は、本当なのだと実感しています。

息子は先生方にお会いしていないにもかかわらず  
親がしっかりとPCMを学び会話や行動が変わった今、

楽しく学校生活を送り、男女たくさんの方達ができ、

ゲームやYoutubeでもたくさん遊び、宿題や勉強は  
最低限だけやる。元気いっぱいでかっこつけた  
4年生に成長しました。

鈴木先生には最初の相談メールから卒業まで担当  
していただき、登校しぶりへの対応から夫婦の役割分担、  
ゲームや家庭のルールに至るまで、本当にいろいろな事で  
大変お世話になりました。

毎週の電話カウンセリングでの明るいお声が聞けなく  
なり、少し寂しい気がします。

現在息子はまだ10才。これからも育てては続けて  
いきますが、ペアレンツキャンプで学んだ事を生かして

夫婦で協力して息子と共に成長していきたいと  
思います。

最後にカウンセラーの先生方、ご多忙とは存じますが、  
どうぞお体ご自愛下さいませ。  
今後一層のご活躍をお祈り申し上げます。  
また親の会でお会いでされるのを楽しみにしております。

2018.12.6